



2021年11月8日

各位

東京都港区港南四丁目1番8号  
 会社名アドソル日進株式会社  
 代表者名代表取締役会長兼CEO 上田 富三  
 (東証一部・コード3837)  
 問合せ責任者 取締役経営企画室長 後関 和浩  
 (TEL 03-5796-3131)

## 第2四半期業績予想と実績の差異、及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2021年5月11日に公表した、2022年3月期第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の業績予想と、本日公表の同実績に差異が生じました。

又、最近の業績動向を踏まえ、2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 第2四半期業績予想と実績との差異について

2022年3月期第2四半期(累計) 連結業績予想数値と実績との差異(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,900	百万円 695	百万円 715	百万円 472	円 銭 51.11
実績(B)	6,228	608	628	436	47.14
増減額(B-A)	△671	△86	△86	△35	
増減率(%)	△9.7	△12.5	△12.1	△7.4	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	6,790	688	707	507	55.09

(差異の理由)

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の延長等により、顧客において、ICT投資の実施判断に影響が生じました。

その結果、当社が注力する社会インフラ関連の大型案件(電力・ガス)の一部において、ICTシステム開発のプロジェクト開始が遅延し、当第2四半期連結会計期間以降に見送られたことから、これらプロジェクトによる収益貢献が期ずれとなり、2021年5月11日に公表した2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と、実績に差異が生じました。



## 2. 通期業績予想の修正について

2022年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,200	百万円 1,350	百万円 1,381	百万円 910	円 銭 98.44
今回修正予想(B)	12,500	1,200	1,234	830	89.38
増減額(B-A)	△1,700	△150	△147	△80	
増減率(%)	△12.0	△11.1	△10.6	△8.8	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	13,518	1,285	1,314	898	97.31

### (修正の理由)

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の解除以降、顧客の ICT 投資マインドが、徐々に改善しつつあります。

売上面では、電力・ガスのエネルギー関連を中心に、延期されていた各 ICT システム開発が開始されるなど、受注環境は回復の兆しを見せているものの、これらプロジェクトの本格的な収益貢献は、来期以降となることが見込まれます。

利益面では、収益貢献の期ずれ影響を大きく受けることから、販売管理費の再精査等によるコストの抑制に努め、営業利益の確保に取り組む一方、オフィス増床（東京本社）や、DX 人材育成等の戦略投資については継続し、来期以降の本格的な受注回復に向けた基盤強化を図る方針です。

以上のことから、「2022年3月期（通期）」の業績予想（2021年3月期 決算短信：2021年5月11日付）を、上記の通り修正いたします。

今後の業績動向により、修正の必要が生じましたら、速やかに情報開示いたします。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。

以 上